

2026年3月期 決算説明資料

2026年5月19日

1. 2026年3月期 決算概要

2. 2027年3月期 通期業績予想

3. 各事業の概況

Appendix

注) 本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。
尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数は切捨て、増減率は小数点以下第2位を四捨五入し小数第1位まで記載しております。
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

- 1) 決算概要
- 2) EBITDA・営業利益の増減 【売上高・費用内訳】（前期比）
- 3) 事業別売上高の増減
- 4) キャッシュ・フロー
- 5) 配当金

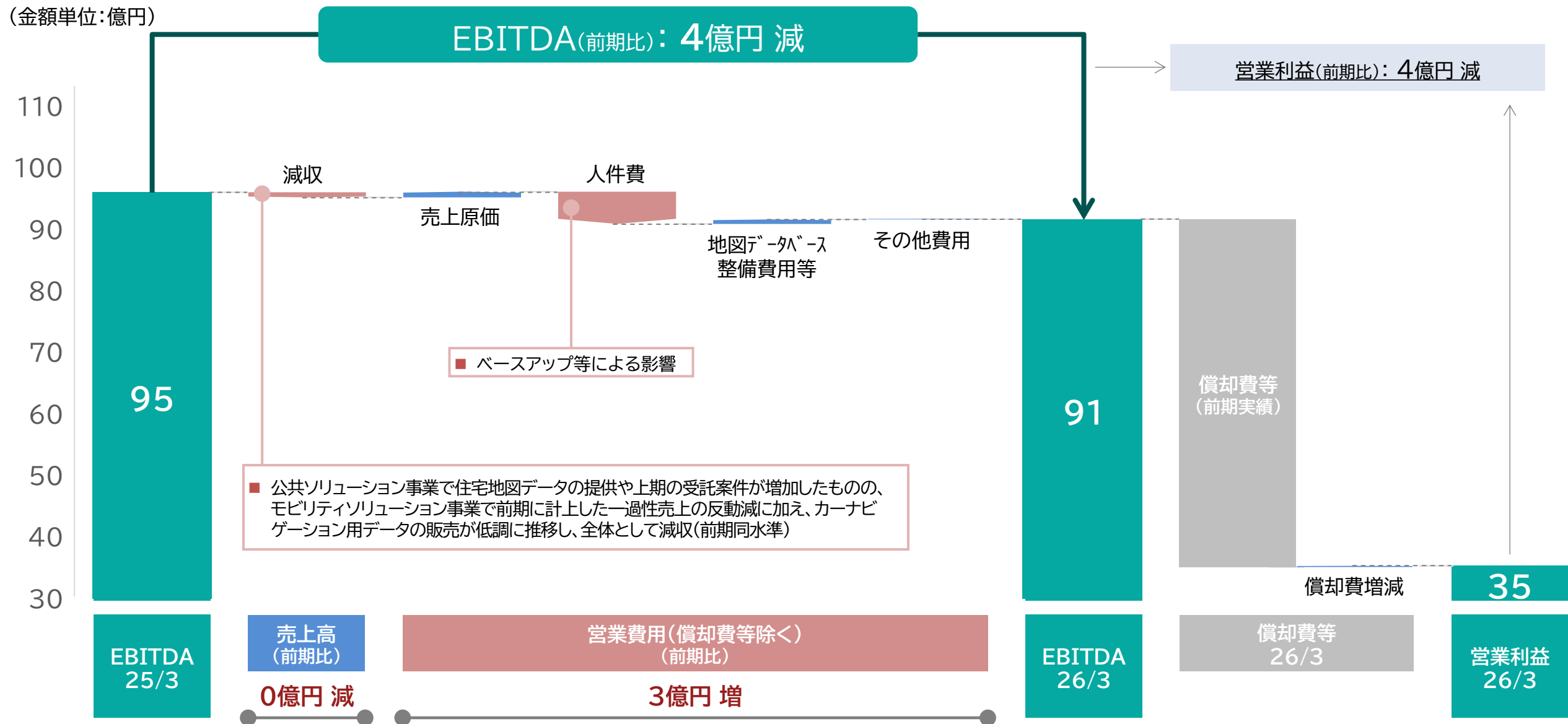
1) 決算概要

2026年3月期 決算のポイント【売上高は3期ぶりの減収(前期同水準)、EBITDA・営業利益は3期ぶりの減益】

- 売上高は、公共ソリューション事業で住宅地図データの提供や受託案件が増加したものの、モビリティソリューション事業で前期に計上した一過性売上の反動減に加え、カーナビゲーション用データの販売が低調に推移し、全体として減収(前期同水準)。
- 損益面では、売上構成変化や人件費の増加などにより、EBITDA・営業利益は減益。経常利益は持分法による投資損益や為替影響等により微減に留まる。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益の計上などにより、前期比増益。

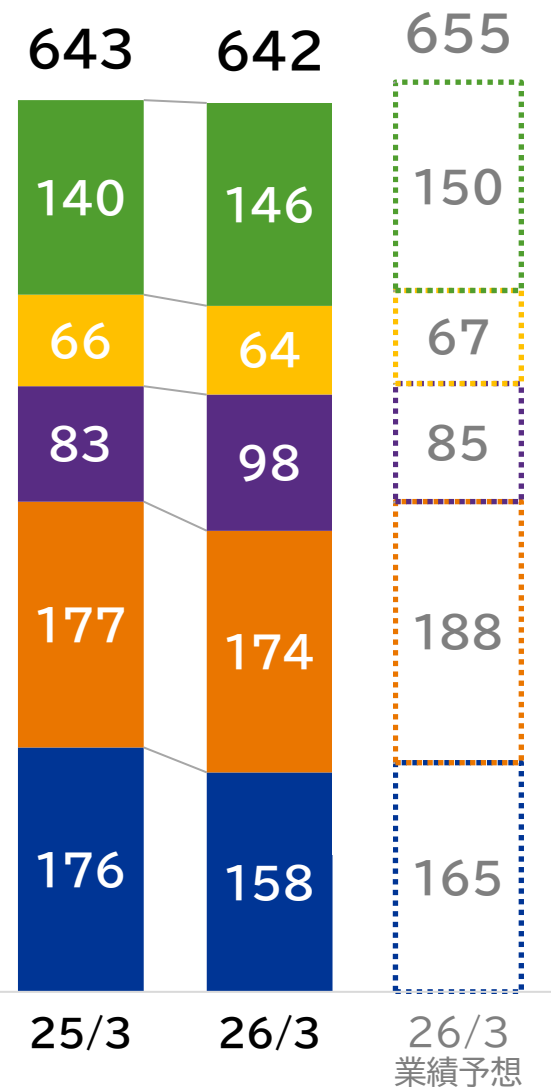
(金額単位:百万円)	① 前期実績 (2025年3月期)	当期(2026年3月期)					
		② 業績予想	③ 当期実績	前期比(③－①)		業績予想比(③－②)	
					増減率		増減率
売上高	64,363	65,500	64,277	△ 86	△ 0.1%	△ 1,222	△ 1.9%
営業費用	60,440	61,200	60,775	+ 334	+ 0.6%	△ 424	△ 0.7%
EBITDA (EBITDAマージン)	9,578 14.9%	10,000 15.3%	9,137 14.2%	△ 440 △ 0.7pt	△ 4.6% -	△ 862 △ 1.1pt	△ 8.6% -
営業利益 (営業利益率)	3,923 6.1%	4,300 6.6%	3,502 5.4%	△ 420 △ 0.7pt	△ 10.7% -	△ 797 △ 1.2pt	△ 18.6% -
経常利益	3,936	4,400	3,866	△ 69	△ 1.8%	△ 533	△ 12.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,606	3,000	2,738	+ 132	+ 5.1%	△ 261	△ 8.7%
ROE (自己資本当期純利益率)	5.3%	6.0%	5.5%	+ 0.2pt	-	△ 0.5pt	-

2) EBITDA・営業利益の増減【売上高・費用内訳】（前期比）



3) 事業別売上高の増減

(金額単位:億円)

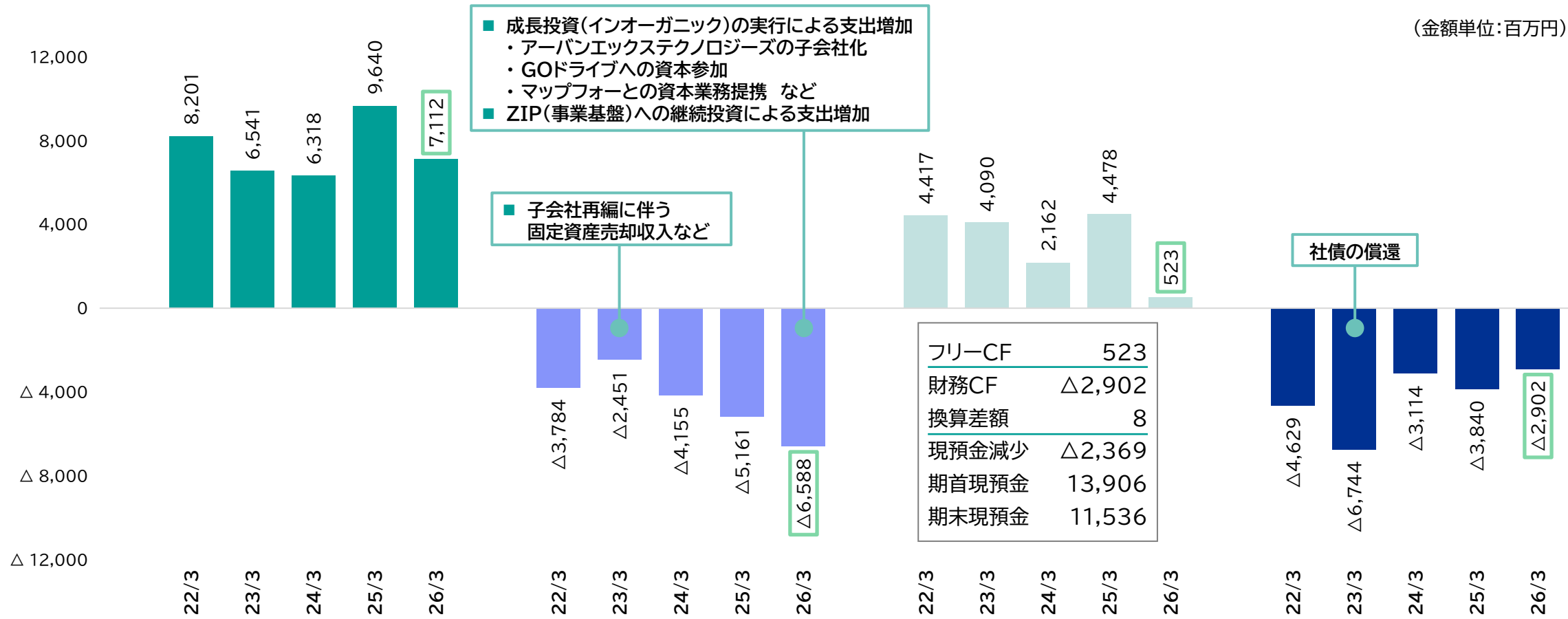


	前期比 (増減率)	業績予想比 (増減率)	2026年3月期の事業概況
売上計	△ 0 億円 (△ 0.1%)	△ 12 億円 (△ 1.9%)	—
プロダクト ソリューション	+ 6 億円 (+ 4.4%)	△ 3 億円 (△ 2.4%)	<ul style="list-style-type: none">GISパッケージをはじめとしたストック商材は計画通り、堅調に推移フロー商材は、住宅地図帳などの減少傾向が続き、業績予想未達
マーケティング ソリューション	△ 1 億円 (△ 2.7%)	△ 2 億円 (△ 3.5%)	<ul style="list-style-type: none">クライアントの販促活動縮小により、前期比減収、業績予想未達
公共 ソリューション	+ 15 億円 (+ 18.6%)	+ 13 億円 (+ 15.9%)	<ul style="list-style-type: none">消防署通信指令システムのリプレイスによる住宅地図データの提供、および 国勢調査の大型受託案件などにより、前期および業績予想を上回り大幅増収
インフラ ソリューション	△ 2 億円 (△ 1.5%)	△ 13 億円 (△ 6.9%)	<ul style="list-style-type: none">APIサービスが堅調に推移するものの、 前期計上した案件の反動減や新規顧客開拓が遅延し、前期比減収、業績予想未達
モビリティ ソリューション	△ 18 億円 (△ 10.3%)	△ 6 億円 (△ 4.1%)	<ul style="list-style-type: none">前期に計上した過年度の数量報告過少分の反動減（約4億円）モデル終焉や生産調整等による当社データ採用モデルの自動車販売台数減少海外子会社における受託ビジネスの縮小（採算性の低い受託ビジネスの見直し）

(参考) 国内自動車販売台数	前期	当期	増減率
4Q累計 (4月 ~ 3月)	457万台	453万台	△0.9%
4Q期間 (1月 ~ 3月)	128万台	125万台	△2.5%
(出典元: (株)日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会の公表値を当社で合算)			

※ 25年3月期の数値は、中長期経営計画(ZGP2030)の事業区分に組み替えて表示しております。

4) キャッシュ・フロー



	営業CF	投資CF	フリーCF	財務CF
26/3	7,112百万円収入	6,588百万円支出	523百万円収入	2,902百万円支出
前期比	2,528百万円 収入減	1,427百万円 支出増	3,955百万円 収入減	937百万円 支出減

5) 配当金

利益還元の基本方針

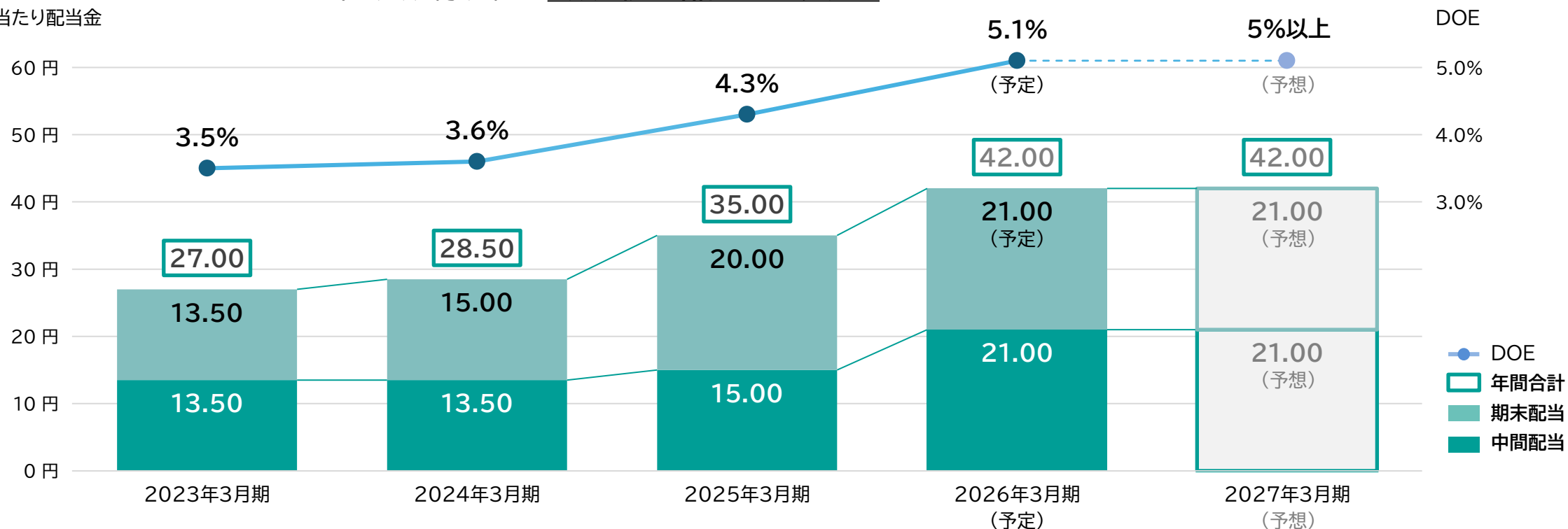
中長期経営計画における利益成長に基づき
安定的・継続的な配当の実施に加え、機動的な自己株式の取得を実施

配当

<2026年3月期> 中間 21円、期末 21円(予定)、年間 42円(予定) / DOE 5.1%(予定)
(前期比+7円) (前期比+0.8pt)

- 1994年9月の福証上場以来、普通配当の減配なし
- 2026年3月期以降、DOE目標を従来の3%以上から5%以上に引き上げ (2026年3月期:5.1%の予定)
- 2026年3月期(予定)は、5期連続の増配となる見込み

1株当たり配当金



2. 2027年3月期 通期業績予想

- 1) 通期業績予想
- 2) EBITDA・営業利益の増減【売上高・費用内訳】(前期比)
- 3) 中長期経営計画(ZGP2030) 業績目標の進捗
- 4) ZGP2030 キャピタルアロケーションの進捗

1) 通期業績予想

2027年3月期 通期業績予想のポイント【売上高・経常利益までは2期ぶり増収増益、当期純利益は前期特別利益の反動で減益】

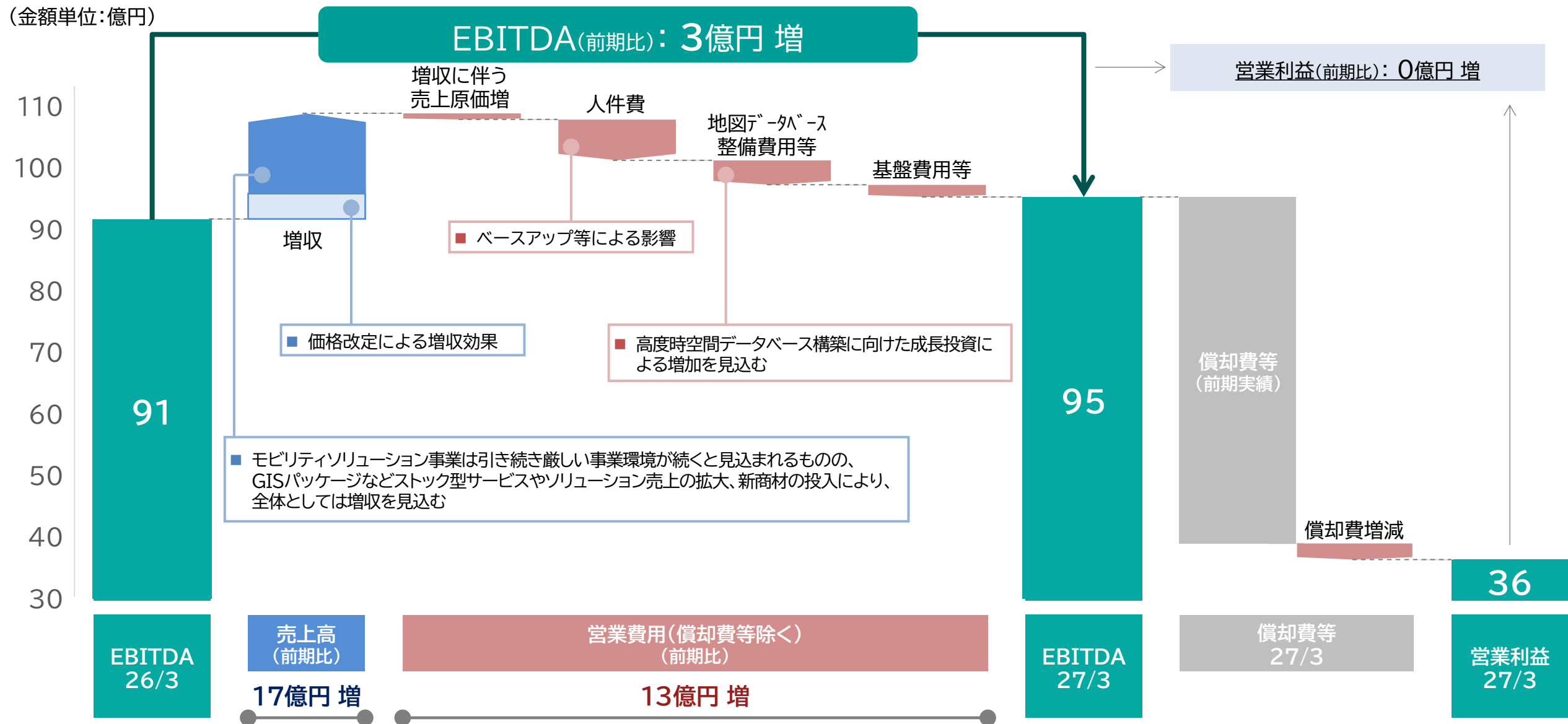
- モビリティソリューション事業は引き続き厳しい事業環境が続くと見込まれるものの、GISパッケージなどストック型サービスやソリューション売上の拡大、新商材の投入により、全体としては増収を見込む
- 増収に伴う売上原価の増加や高度時空間データベース構築に向けた成長投資に加え、ベースアップの継続による人件費の増加などにより、EBITDAは増益、営業利益は前期微増(前期同水準)を見込む
- 当期純利益は、前期に投資有価証券売却益を計上した反動で減益(当期、特別利益への計画織り込みなし)

(ZGP2030目標比)

- ・ 外部環境変化によりモビリティソリューション事業が目標比で大幅減収。インフラソリューション事業は新規顧客開拓が遅延し目標比では大幅減収となるも、2nd Stageでの増収牽引を見込む
- ・ 費用面では、2nd Stageの成長加速に向けた高度時空間データベース構築に向けた成長投資などの費用増加を見込む
- ・ EBITDA・営業利益は、これらの費用増加に加え、当社が固定費中心のコスト構造であることから、減収分が利益に大きく反映される結果となり、目標比では大幅減益となる見通し

(金額単位:百万円)	① 前期実績 (2026年3月期)	当期(2027年3月期)					
		② ZGP2030目標	③ 業績予想	前期比(③-①)		目標比(③-②)	
					増減率		増減率
売上高	64,277	68,000	66,000	+ 1,722	+ 2.7%	△ 2,000	△ 2.9%
営業費用	60,775	62,500	62,400	+ 1,624	+ 2.7%	△ 100	△ 0.2%
EBITDA (EBITDAマージン)	9,137 14.2%	11,500 16.9%	9,500 14.4%	+ 362 + 0.2pt	+ 4.0% -	△ 2,000 △ 2.5pt	△ 17.4% -
営業利益 (営業利益率)	3,502 5.4%	5,500 8.1%	3,600 5.5%	+ 97 + 0.1pt	+ 2.8% -	△ 1,900 △ 2.6pt	△ 34.5% -
経常利益	3,866	(非開示)	3,900	+ 33	+ 0.9%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,738	4,000	2,500	△ 238	△ 8.7%	△ 1,500	△ 37.5%
ROE (自己資本当期純利益率)	5.5%	8.0%	5.1%	△ 0.4pt	-	△ 2.9pt	-

2) EBITDA・営業利益の増減【売上高・費用内訳】（前期比）

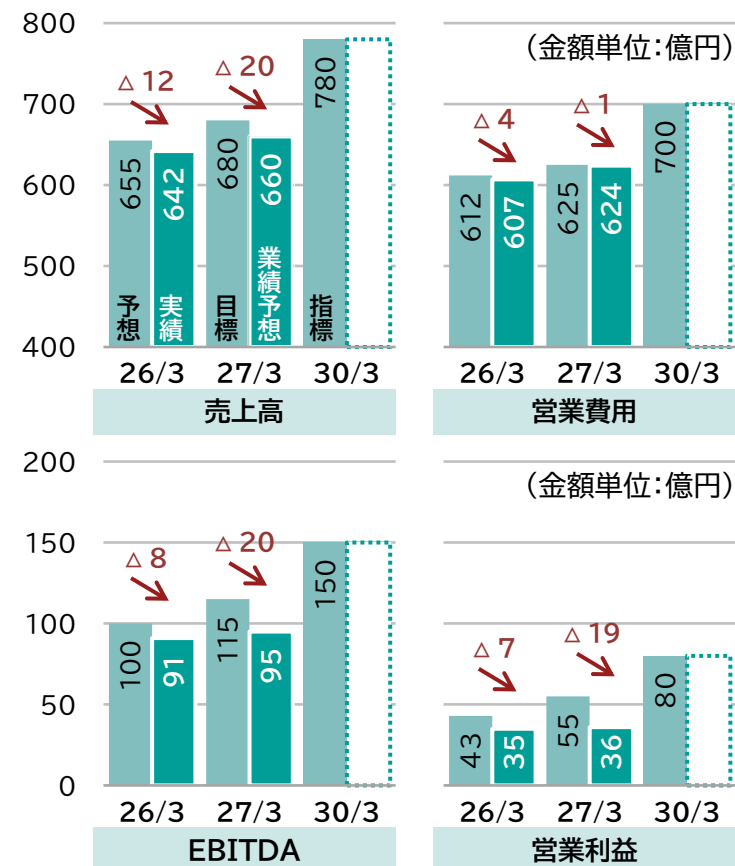


3) 中長期経営計画(ZGP2030) 業績目標の進捗

- ・ZGP2030 1st Stage(2026年3月期実績・2027年3月期業績予想)は、当初予想・目標を下回る
- ・1st Stageの成長投資を2nd Stageの収益拡大に繋げることで、最終年度(2030年3月期)の当初指標(売上高・各利益)は据え置き

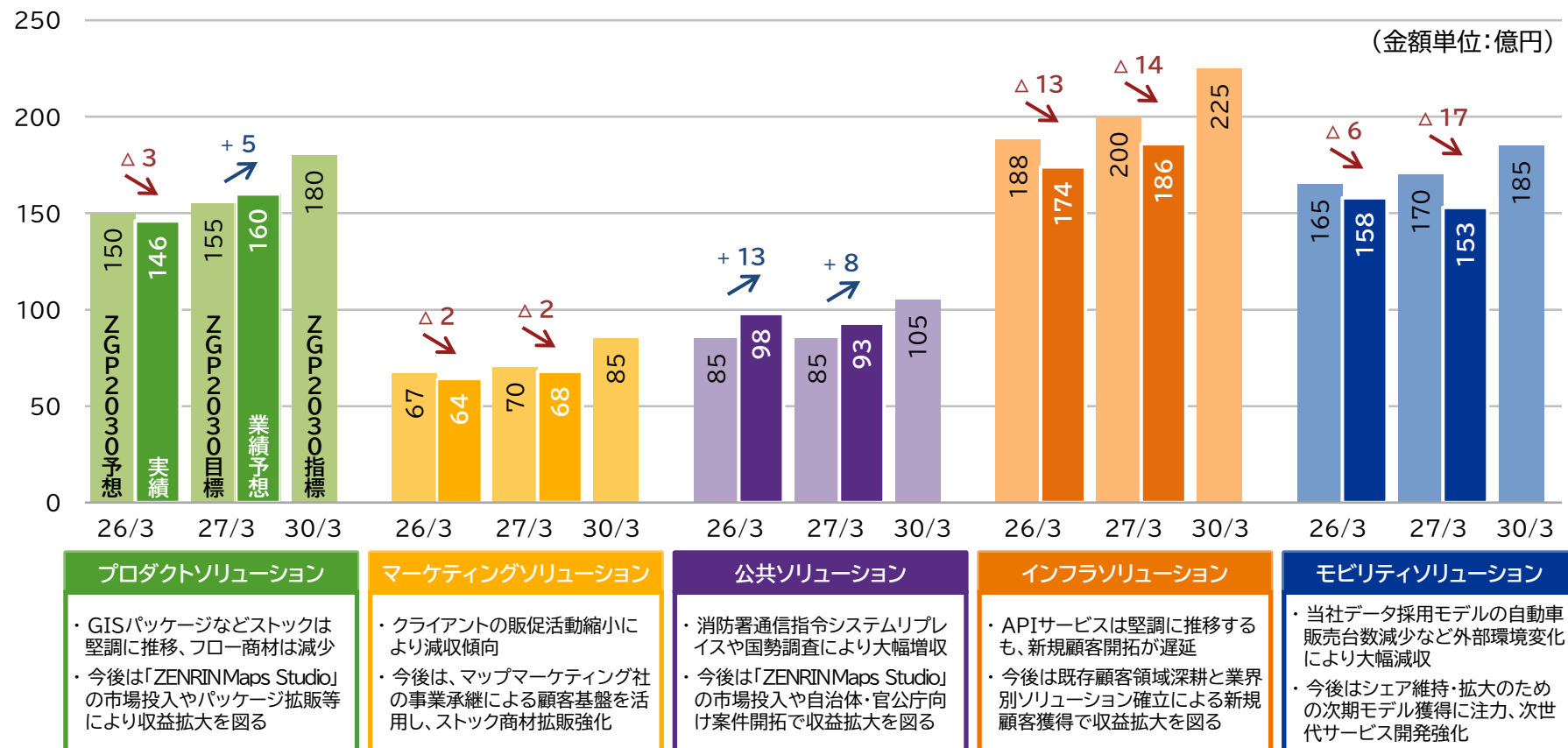
■ 売上高～営業利益

1st Stage(26/3、27/3)は、当初目標比で減収となる一方、変革実行期として成長投資を継続実施



■ 事業別売上高

ZGP2030最終年度(2030年3月期)の売上高総額は現時点で変更を想定していないものの、1st Stageの実態に即し、事業別売上高の数値は今後組み替え予定

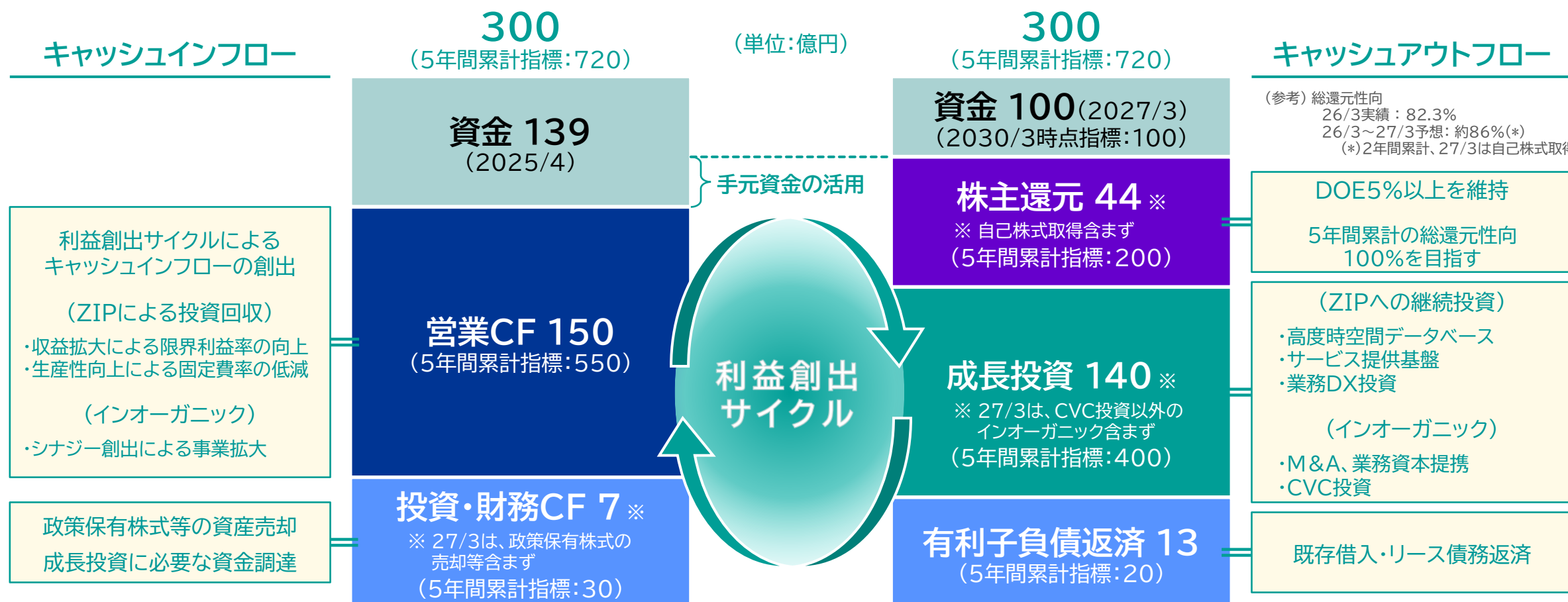


4) ZGP2030 キャピタルアロケーションの進捗

- ・ ZGP2030 1st Stageのキャッシュインフローは想定を下回る見通しであるが、手元資金の活用などにより、2nd Stageでの収益拡大に向け必要な成長投資は当初予定通り実行
- ・ 株主還元として、配当はDOE5%以上とし、2nd Stageでの利益成長を含めZGP2030の5年間累計総還元性向100%を目指す

■ 1st Stage(2026年3月期 実績+2027年3月期 予想)イメージ (記載金額は概算)

※ 5年間累計指標：中長期経営計画(ZGP2030)の対象期間である2026年3月期～2030年3月期の累計数値を記載しております。



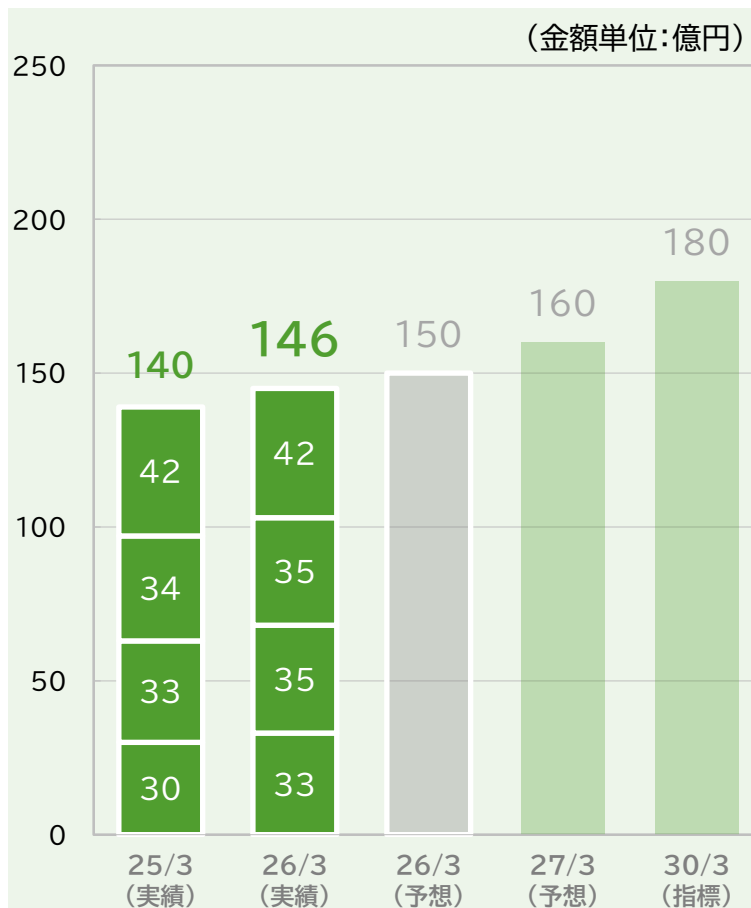
- 1) プロダクトソリューション事業
- 2) 公共ソリューション事業
- 3) マーケティングソリューション事業
- 4) インフラソリューション事業
- 5) モビリティソリューション事業

1) プロダクトソリューション事業

26年3月期 実績	前期比	+6億円 (+4.4%)
【146億円】	業績予想比	△3億円 (△2.4%)

ZGP2030
方針

新規サービス(セクション)の市場投入と 既存サービス(パッケージ)の
幅広いラインナップでさらなるストックビジネスの拡大



2026年3月期 実績

- GISパッケージをはじめとしたストック商材は計画通り堅調に推移
【GISパッケージ売上高：54億円（前期比+4億）】
- フロー商材は、住宅地図帳などの減少傾向が続き、
プロダクト事業全体では、前期比大幅増収となるも業績予想は未達

【ZGP2030進捗】

- GISパッケージの機能拡充（登記所備付地図データを実装）
- 期末ストック比率：60%台で推移

2027年3月期の取り組み

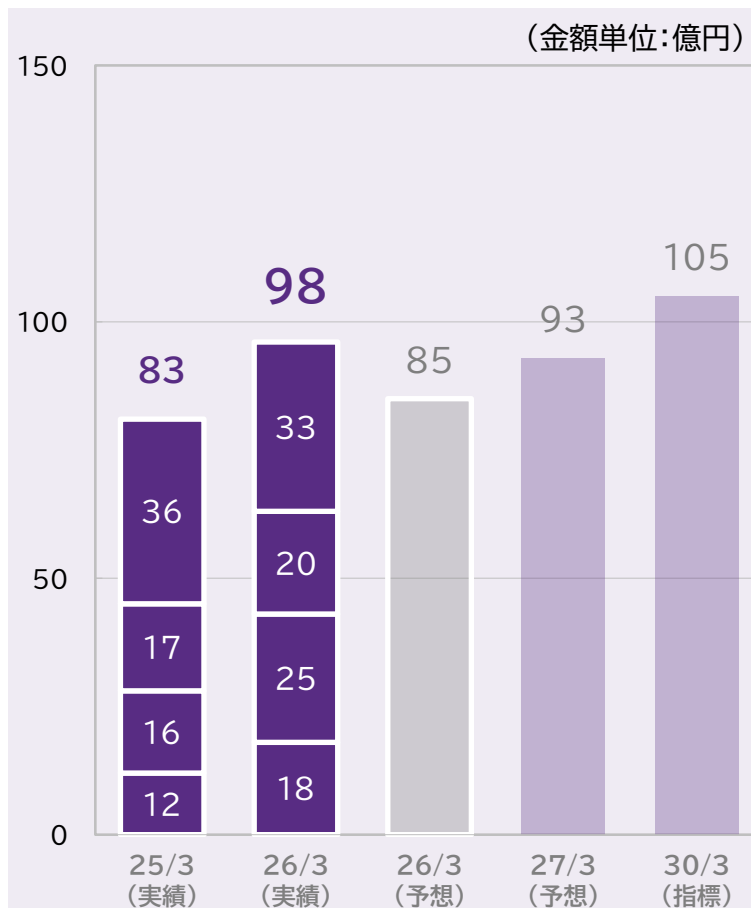
- セクションサービス「ZENRIN Maps Studio」の市場投入 ⇒トピック
- GISパッケージの拡販、ソリューションへのアップセル、価格改定（8月以降）

2) 公共ソリューション事業

26年3月期 実績	前期比	+15億円 (+18.6%)
【98億円】	業績予想比	+13億円 (+15.9%)

ZGP2030 方針

省庁・地域の課題を解決するソリューションビジネスの強化・標準化と新規サービス(セクション)の市場投入でストックビジネスを本格化



2026年3月期 実績

- 消防署通信指令システムのリプレイスによる住宅地図データの提供、および国勢調査の大型受託案件などにより、前期および業績予想を上回り大幅増収

【ZGP2030進捗】

- 空き家、防災、交通、観光等、地域課題解決支援サービスの開発・提案を各地域で推進
- 自治体のDX支援およびストックビジネスの拡大推進
 - デジタル地図データ導入自治体数: 1,100超
 - ストック型サービス導入自治体数 : 約590自治体

2027年3月期の取り組み

- セクションサービス「ZENRIN Maps Studio」の市場投入 ⇒トピック
- 自治体との地域共創案件、官公庁受託案件の開拓・強化

セミオーダー型業務支援クラウドサービス（セレクションの商品化）

ソリューションサービスで培ったシステム開発ノウハウを活用し、汎用部品化した業務機能とデータコンテンツをセレクトして、お客様専用のWEBアプリケーションを構築・提供するストックモデルの新サービス

自治体・地域中堅企業のDXニーズに応じて、パッケージからの利用拡大と新たな顧客基盤の確立により、地域共創を加速

売上目標：2030年3月期 50億円

（プロダクトソリューション事業+公共ソリューション事業の合計）

DX推進におけるよくある課題

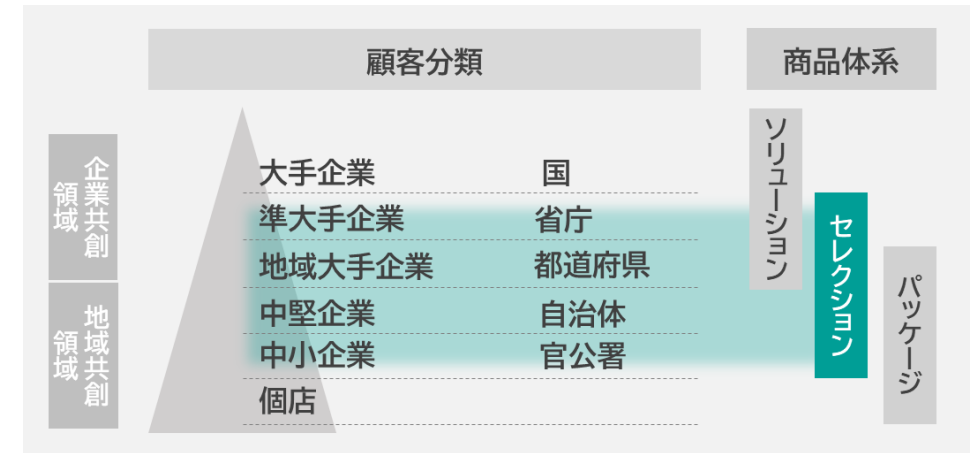


「パッケージじゃ足りない、フルスクラッチは高い…」
「DXの最適解が見つからない」
「“自社業務専用”の地図サービスがほしい」

ZENRIN Maps Studioなら

初期費用0円から、最短5営業日で導入可能！
クラウド型で設備投資を抑えつつ、個別要件への優れた柔軟性と拡張性を提供

ZGP2030における商品体系とターゲット



必要な機能とコンテンツを選んでカスタマイズ
ちょうどいい機能と価格でDXを実現

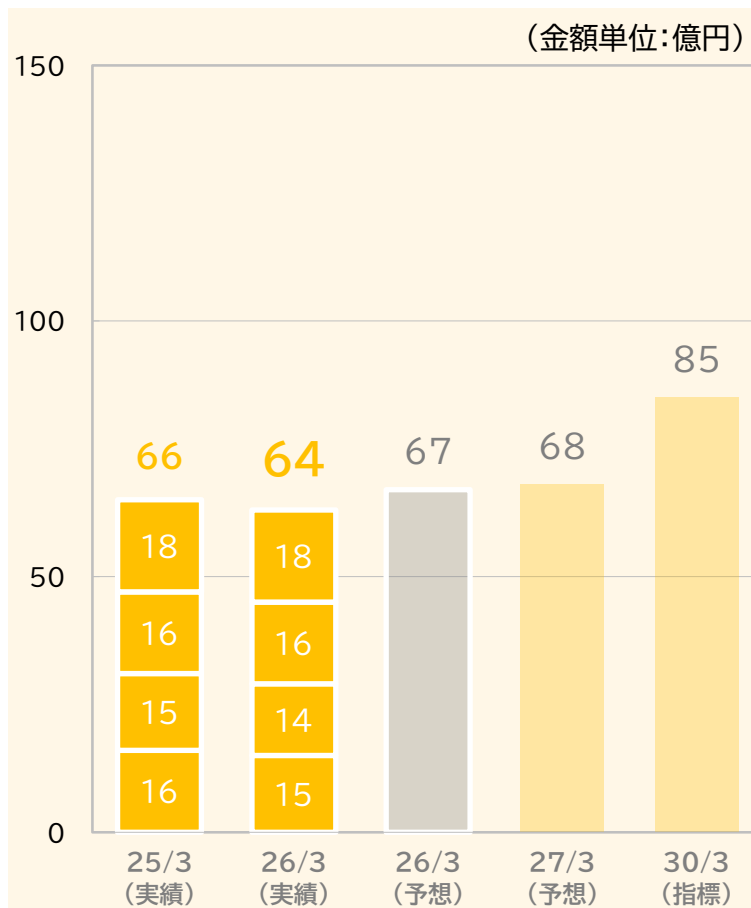


3) マーケティングソリューション事業

26年3月期 実績	前期比	△1億円 (△2.7%)
【64億円】	業績予想比	△2億円 (△3.5%)

ZGP2030 方針

個々のマーケティング課題に最適化したサービスで
個店から企業まで幅広い顧客を獲得



2026年3月期 実績

- クライアントの販促活動縮小により、前期比減収、業績予想未達

【ZGP2030進捗】

- ストック商材のラインナップ拡充: 「OricomBox」の提供開始
- グループ会社のゼンリンマーケティングソリューションズが、GISエリアマーケティングの業界大手であるマップマーケティング社を吸収分割し全事業を承継。顧客基盤を拡大し、さらなる事業成長を加速
- 期末ストック比率: 5%

2027年3月期の取り組み

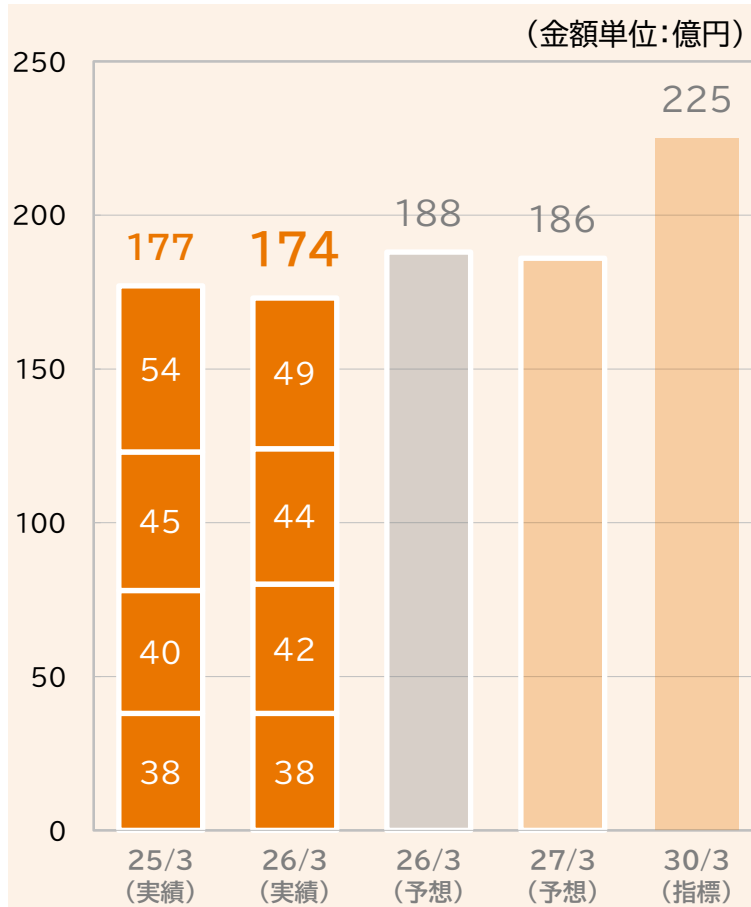
- 新たな顧客基盤を活用し、「ArmBox」「OricomBox」など、ストック商材の拡販強化

4) インフラソリューション事業

26年3月期 実績	前期比	△2億円 (△1.5%)
【174億円】	業績予想比	△13億円 (△6.9%)

ZGP2030 方針

物流・不動産分野など、産業インフラを担う大手企業との共創により
ソリューションビジネスを拡大



2026年3月期 実績

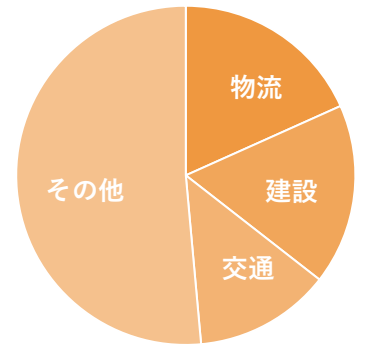
- APIサービスが堅調に推移するものの、前期計上した案件の反動減や新規顧客開拓が遅延し、前期比減収、業績予想未達

【ZGP2030進捗】

- 建設(不動産)・物流分野はライセンスやソリューションの横展開により順調に推移
- その他のセグメントは、提案領域の分析、ソリューション開発を推進中

2027年3月期の取り組み

- 既存顧客領域の深耕と、業界別ソリューションの確立による新規顧客の獲得



インフラソリューション事業における
‘27.3末の業界ポートフォリオイメージ

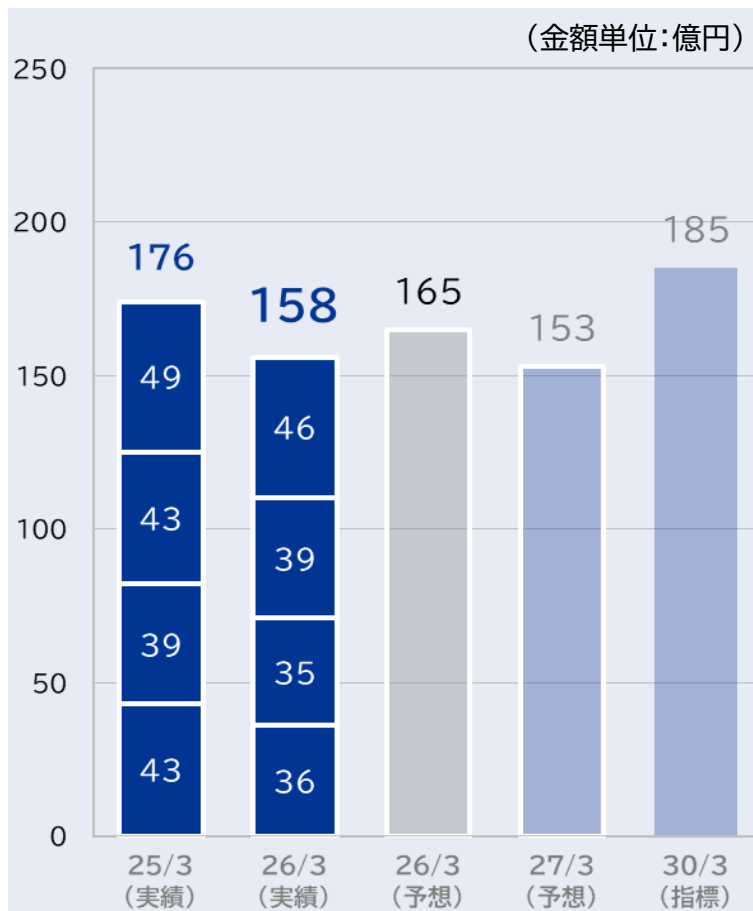
5) モビリティソリューション事業

26年3月期 実績
【158億円】

前期比 $\Delta 18$ 億円 ($\Delta 10.3\%$)
業績予想比 $\Delta 6$ 億円 ($\Delta 4.1\%$)

ZGP2030
方針

既存ナビビジネスのシェア拡大と、EV/AD/ADAS等
次世代自動車サービスのソリューションパートナーとして高度なモビリティ社会を支援



2026年3月期 実績

- 前期に計上した過年度の数量報告過少分の反動減（約4億円）
- モデル終焉や生産調整等による当社データ採用モデルの自動車販売台数減少
- 海外子会社における受託ビジネスの縮小（採算性の低い受託ビジネスの見直し）

【ZGP2030進捗】

- ソリューションサービスの提供による単価アップ、シェア拡大の取り組み強化 ⇒トピック
- 自動車メーカーと連携し次世代の技術・車両開発に向けた試験研究・開発を推進

2027年3月期の取り組み

- 国内自動車販売動向に注視しつつ、シェア維持・拡大のための次期モデル獲得に注力
- SDV時代到来を踏まえ、地理空間情報を活用した次世代のサービス開発を強化

市場シェアのさらなる拡大

当社の地図データが JVCケンウッド製のカーナビに採用

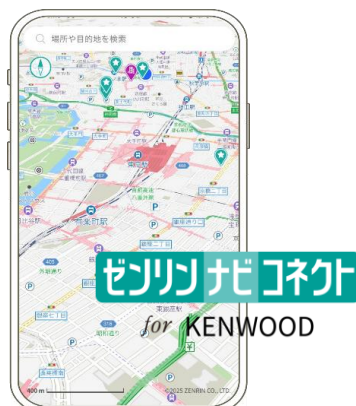
市場で高い人気を誇るJVCケンウッド製のカーナビ「彩速ナビ」の新モデルに当社地図データが採用。ゼンリンの保有するモビリティに最適化されたネットワークデータ「Mobility based Network」などが高く評価。さらにナビと連携するスマホアプリ「ゼンリンナビコネクト for KENWOOD」（カーナビユーザー向けのスマホアプリ）も同時に開発・提供開始。

シェア拡大とともに、サービスビジネスの強化、ストック化も推進。

（2026年5月発表）



「Mobility based Network」イメージ
移動にかかわるあらゆる通路をネットワークデータ化



ソリューションサービスへの転換

当社開発の完全通信型のナビゲーションアプリが 日産自動車 新型「日産リーフ」のDAに初採用

当社が開発したナビゲーションアプリが、日産自動車の電気自動車「リーフ」（B5グレード）のディスプレイオーディオ（DA）「NissanConnectインフォテインメントシステム [シンプル]」に採用。

DAの普及に伴う市場変化を捉え、データ提供のみに留まらず、アプリケーションまで開発するソリューションサービスを推進。付加価値による高単価化を実現し、ストック型ビジネスの構築を推進。

（2026年3月発表）



ゼンリン独自の調査で取得した交差点・看板情報をもとに、分かり易く丁寧な案内を実現

2026年3月期 実績

- 1) 売上高・利益の推移
- 2) 四半期売上高構成比率の推移
- 3) 四半期別の収益傾向
- 4) 事業別売上高の四半期別推移
- 5) キャピタルアロケーション
- 6) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

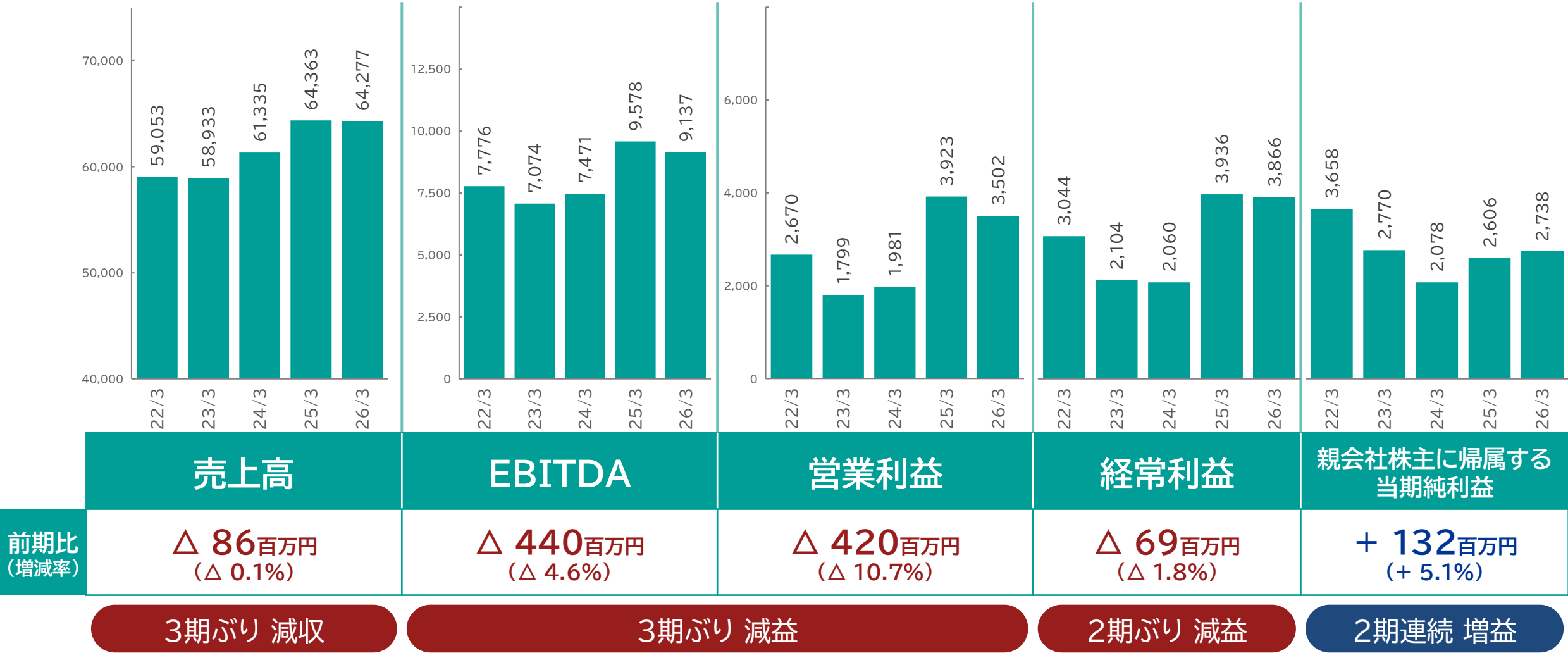
2027年3月期 通期業績予想

- 1) 売上高・利益の推移
- 2) 事業別売上高の増減
- 3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

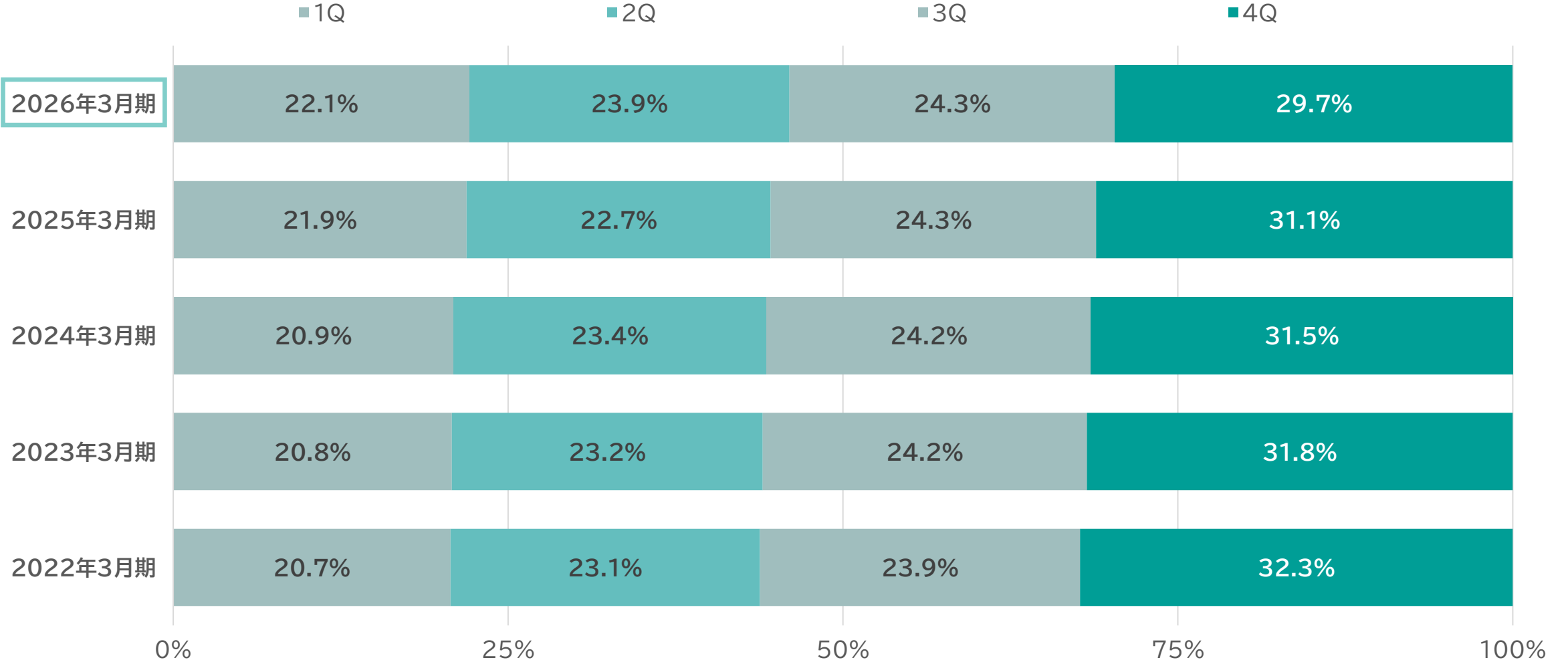
Appendix : 2026年3月期 実績

1) 売上高・利益の推移

(金額単位:百万円)

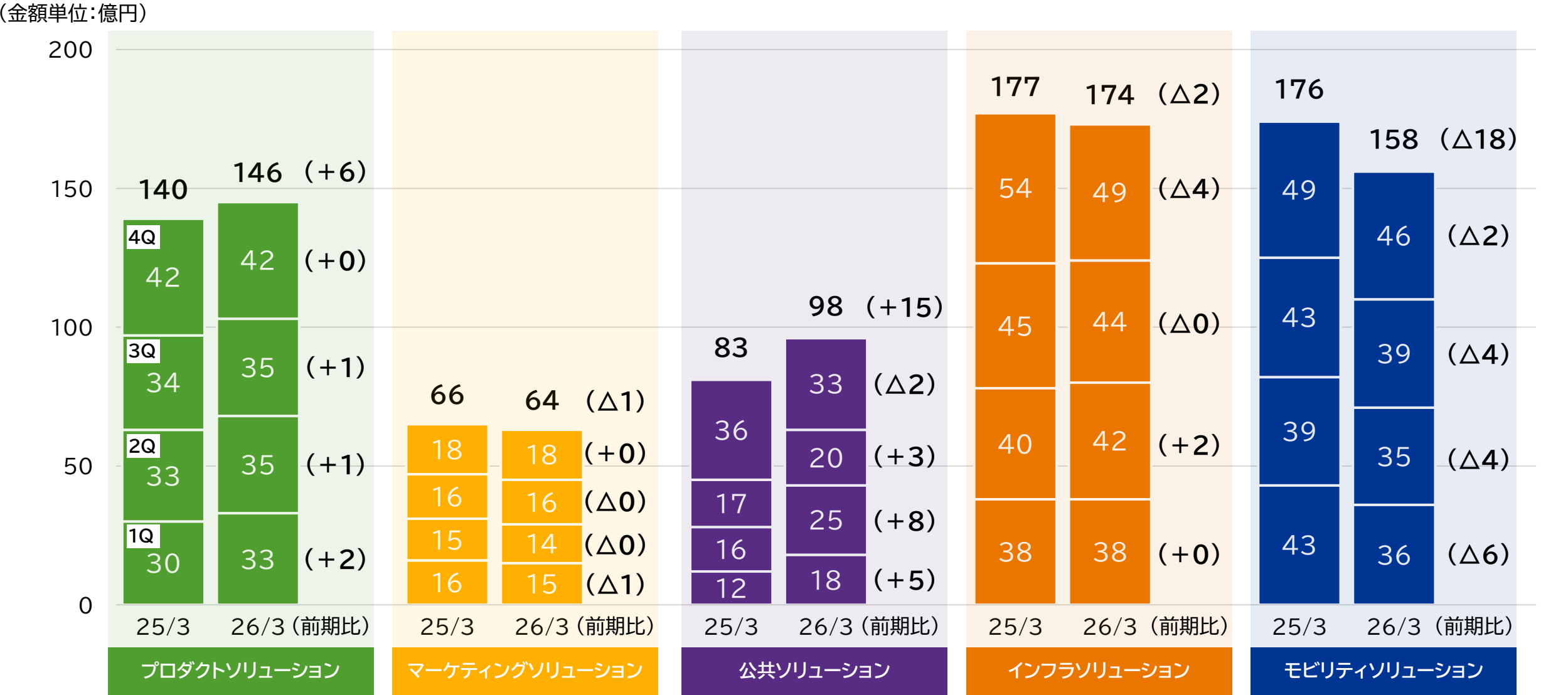


従来より当社グループの売上高は季節的変動が著しく、年度末に売上が集中する傾向



各四半期の売上高・EBITDA・営業利益の推移



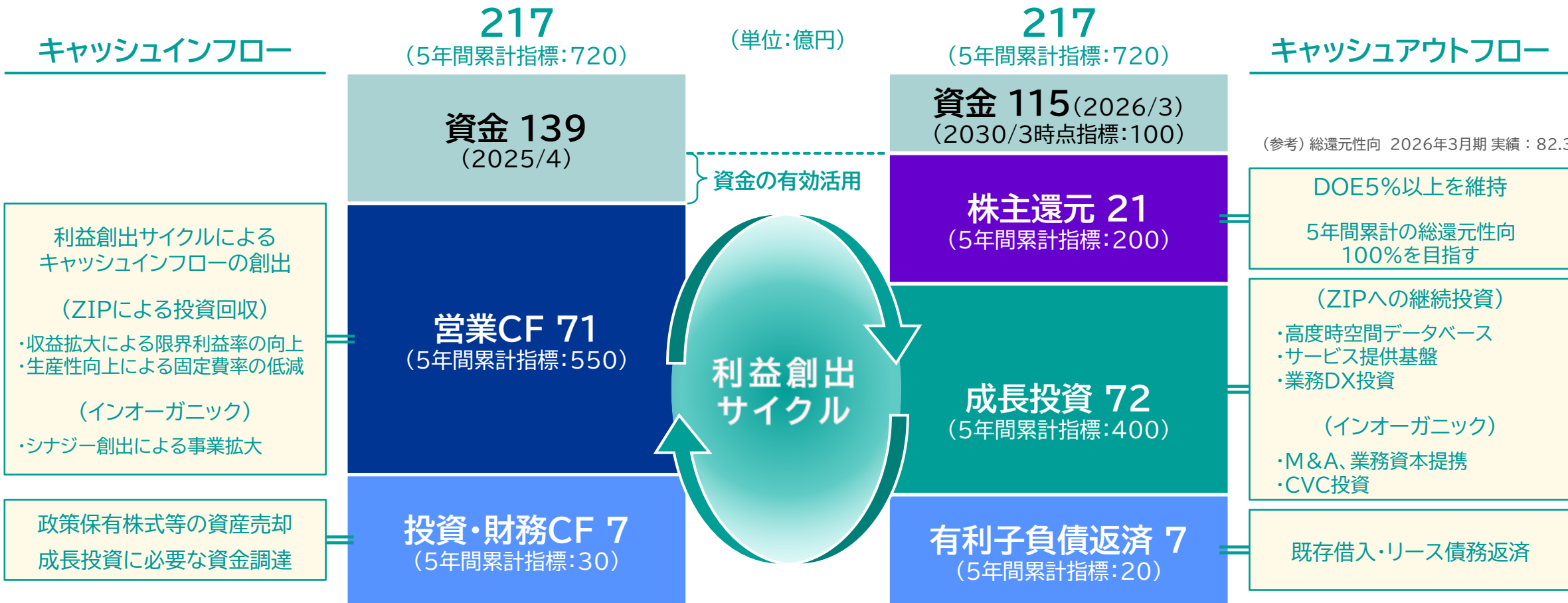


※ 25年3月期の数値は、中長期経営計画(ZGP2030)の事業区分に組み替えて表示しております。

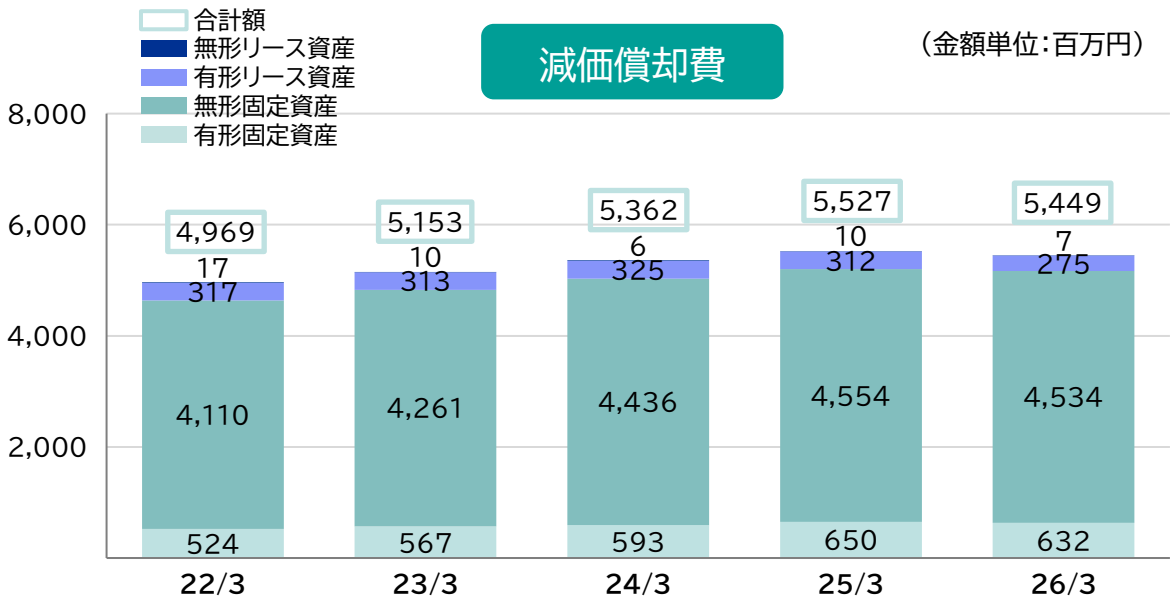
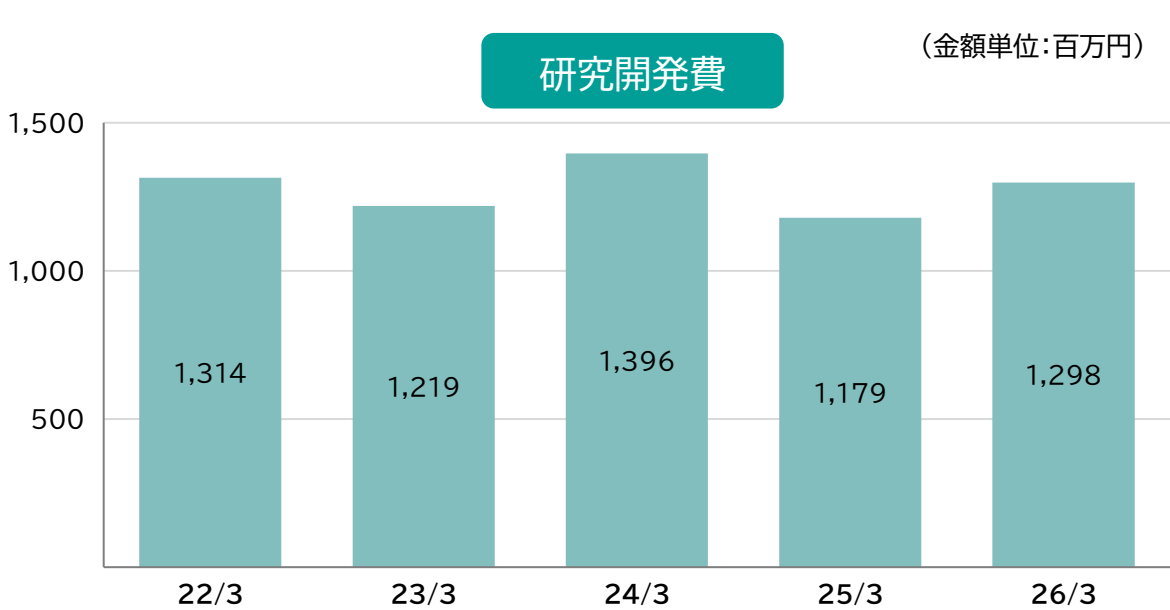
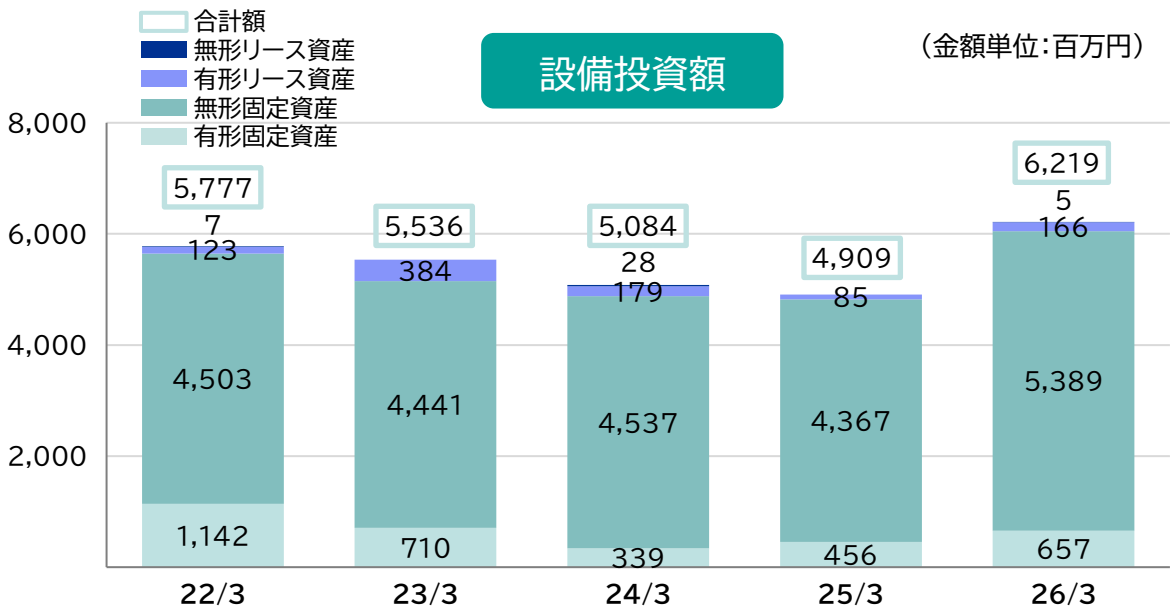
キャッシュインフロー(217億円)：手元資金139億円、営業キャッシュフロー71億円、政策保有株式の売却など7億円
キャッシュアウトフローへの配分：株主還元21億円、M&Aなどを含む成長投資72億円、有利子負債返済7億円

2026年3月期 実績

※ 5年間累計指標：中長期経営計画(ZGP2030)の対象期間である2026年3月期～2030年3月期の累計数値を記載しております。

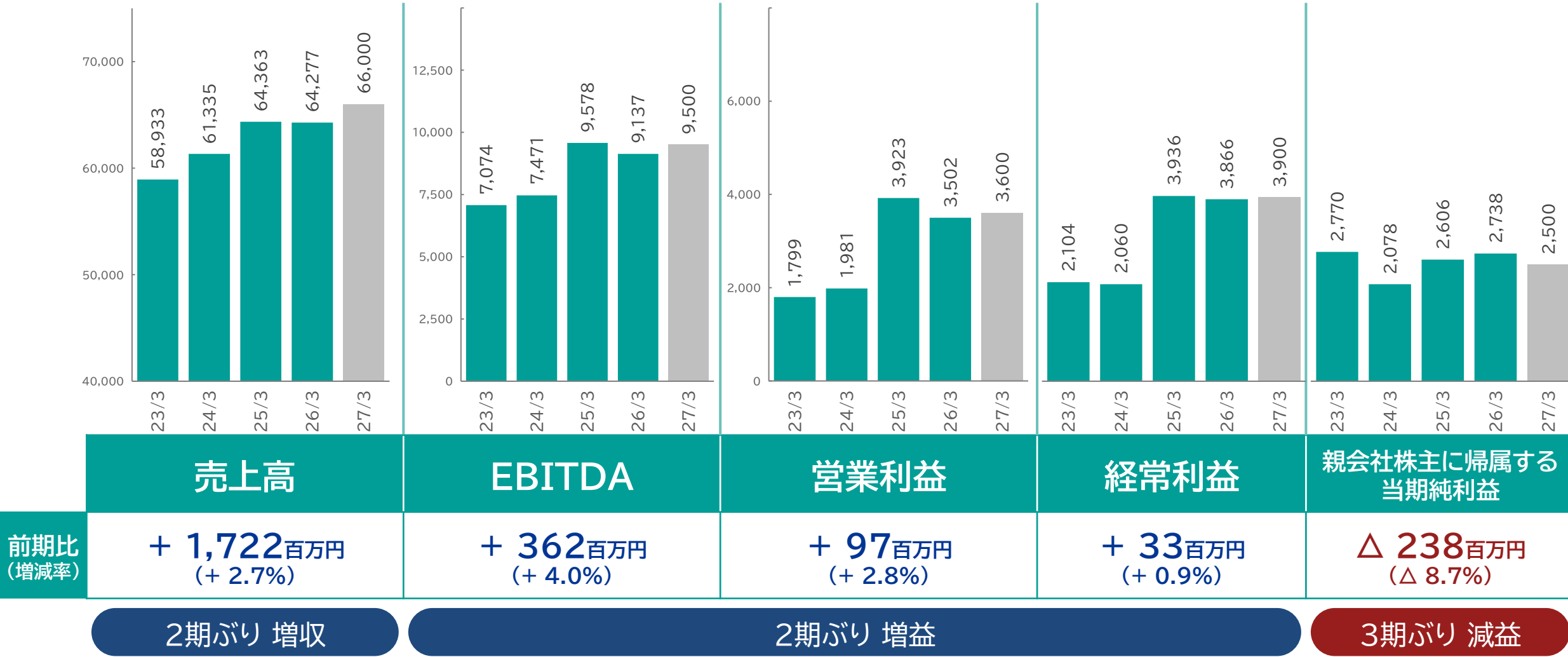


6) 設備投資額・減価償却費・研究開発費



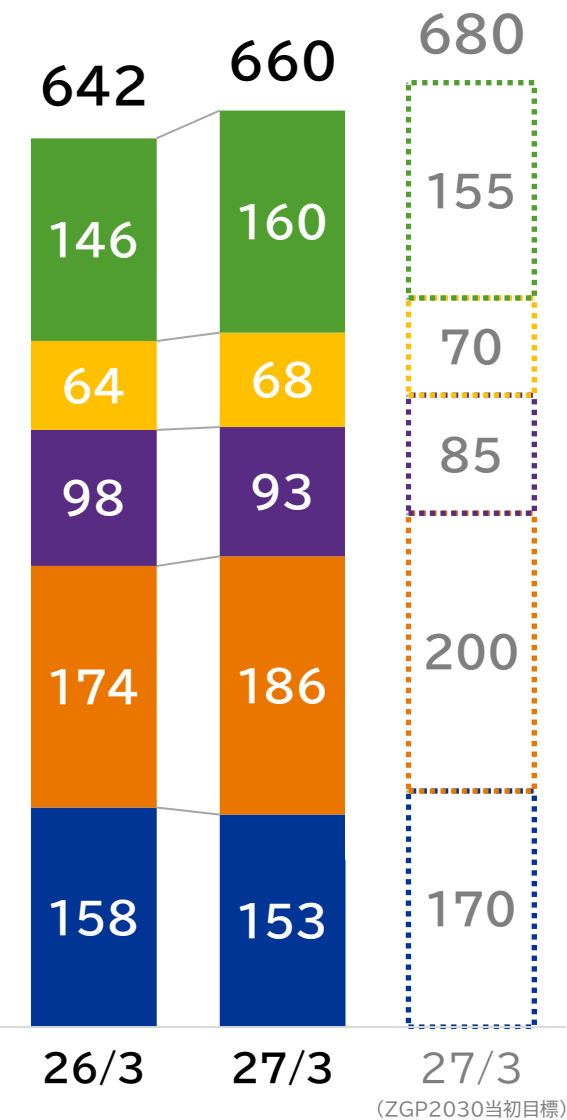
1) 売上高・利益の推移

(金額単位:百万円)



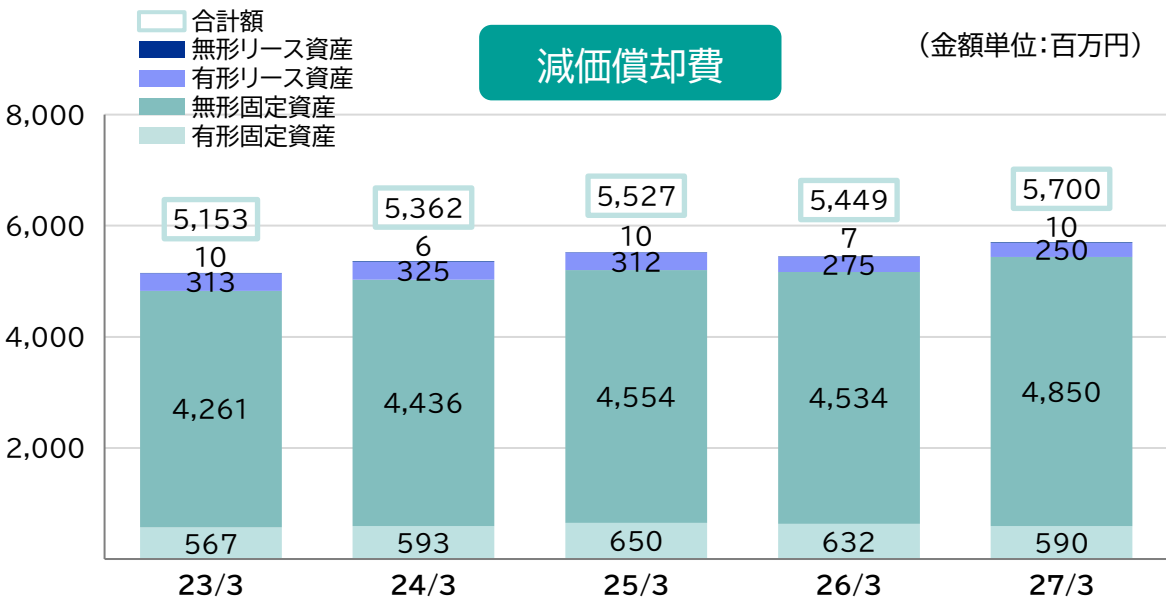
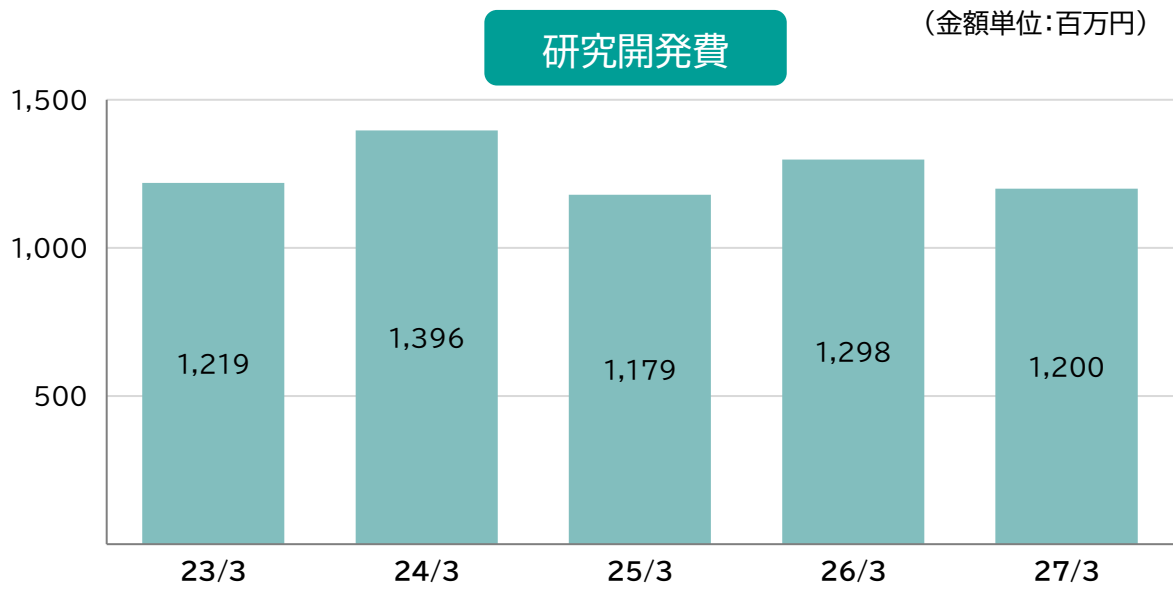
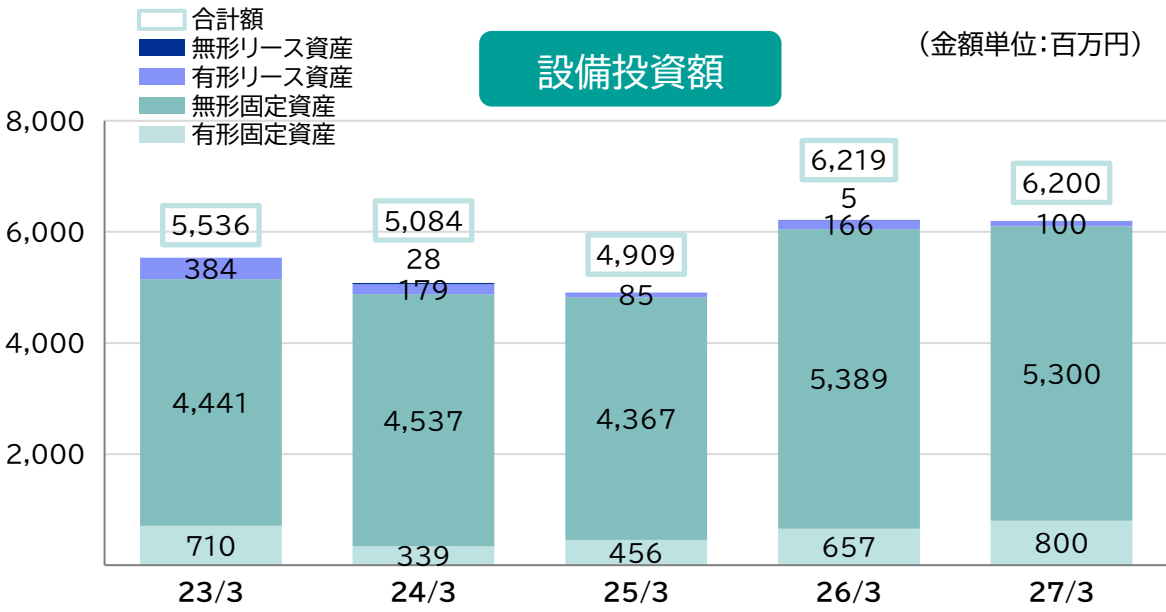
2) 事業別売上高の増減

(金額単位:億円)



	前期比 (増減率)	ZGP2030 当初目標比 (増減率)	2027年3月期の見通し
売上計	+ 17億円 (+ 2.7%)	△ 20億円 (△ 2.9%)	—
プロダクト ソリューション	+ 13億円 (+ 9.3%)	+ 5億円 (+ 3.2%)	<ul style="list-style-type: none">● セレクションサービス「ZENRIN Maps Studio」の市場投入● GISパッケージの拡販、ソリューションへのアップセル、価格改定
マーケティング ソリューション	+ 3億円 (+ 5.2%)	△ 2億円 (△ 2.9%)	<ul style="list-style-type: none">● 事業承継したマップマーケティング社の新たな顧客基盤を活用し、「ArmBox」「OricomBox」など、ストック商材の拡販強化
公共 ソリューション	△ 5億円 (△ 5.6%)	+ 8億円 (+ 9.4%)	<ul style="list-style-type: none">● 消防向け住宅地図データの提供・国勢調査受託は前期比において反動減● セレクションサービス「ZENRIN Maps Studio」の市場投入● 自治体との地域共創案件、官公庁受託案件の開拓・強化
インフラ ソリューション	+ 11億円 (+ 6.3%)	△ 14億円 (△ 7.0%)	<ul style="list-style-type: none">● 既存顧客領域の深耕と、業界別ソリューションの確立による新規顧客の獲得● 前期までの顧客側のシステム見直しや新規開拓遅延により、当初目標比からは減収
モビリティ ソリューション	△ 5億円 (△ 3.3%)	△ 17億円 (△ 10.0%)	<ul style="list-style-type: none">● 国内自動車販売動向は厳しい状況が続き、前期比・当初目標比で減収が見込まれるものの、シェア維持・拡大のための次期モデル獲得に注力● SDV時代到来を踏まえ、地理空間情報を活用した次世代のサービス開発を強化

3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費



ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>

IRお問い合わせ先 zenrin-ir@zenrin.co.jp

会社説明資料 https://www.zenrin.co.jp/ir/pdf/corporate_profile.pdf